



# ミニリーダー講習会

## 講習会

ミニリーダー 5つの約束

- ★元気にあいさつをしよう！
- ★人の話は静かに聞こう！
- ★友だちをいっぱい作ろう！
- ★最後までやりとげよう！
- ★約束は守ろう！

2023 年度

### 開講式

6月18日(日) 26名参加

上高田区民活動センター

あじさいの花が少しづつ色づき始め、梅雨の気配を感じる中、令和5年度ミニリーダー講習会の開講式が行われました。

今年の講習会には3年生から6年生まで32名の申し込みがあり、開講式には26名が出

席。昨年も参加した11名は、学年が1つ上がりちょっとびりお兄さんお姉さんになっていました。

開講にあたり、委員長はじめ育成者より「講習会を通じて、周りの仲間と仲良くなつてください」「安全が第一です。約束はしっかりと守つてください」とエールが贈られました。

そのあと、ひとりずつ「名前・学校名・学年・好きな食べ物」の順に自己紹介をしました。今年の好きな食べ物ランキン第一位は5票を獲得した「ぶどう」。中には「ボンタンあめ！」と元気よく答え、周囲を和ませてくれる場面もありました。



### 第一回講習会 カヌー教室

8月6日(日) 25名参加

令和小学校プール

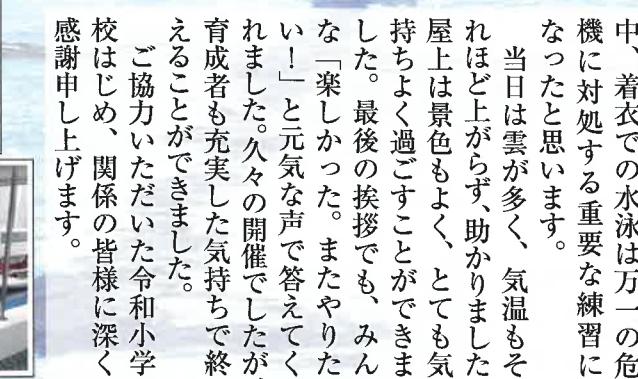
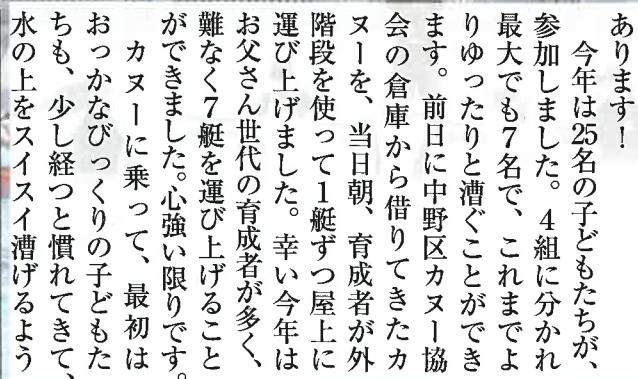
青空が近くに感じられる令和小学校の屋上プールにて、十分な熱中症対策の下、4年ぶりのカヌー教室が開催されました。

前日の猛暑日に比べると、時おり吹く風や天気雨もミスリシャワーのようで心地よかったです。

スイスイとカヌーは進みますが、パドルの使い方が難しい様でなかなかまっすぐに曲がってしまいます。集中してカヌーの先を見つめ、パドルを動かす真剣な子どもたち。上達の度合いはそれほどでしたが、練習を重ねていて25メートルを競争できるようになりました。そして、育成者にサポートしてもらひながら「最後までやりとげよう」を実践できました。

カヌーの講習の後はライフジャケットを脱ぎ、プールの中のボールを潜つて探す「宝さがし」です。カヌーの上の真剣な表情とはうつて変わって、水を楽しむ笑顔になっていました。

令和小学校プールで初めて開催されたカヌー教室、安全面はもちろん暑さやお天気も考慮しながらの講習会の1日。青空に流れる雲と光輝く水面の中、それに負けない子どもたちのキラキラとした眼差しが印象的でした。



### みんなで作った 真夏のカヌー教室

育成部長 曽根 智史

みんなで作った  
真夏のカヌー教室

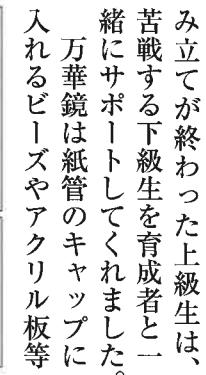
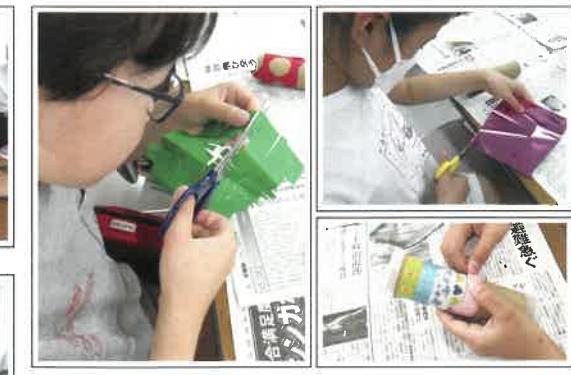
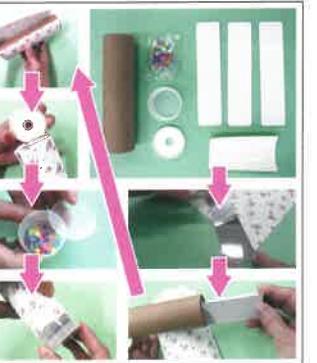
育成部長 曽根 智史

カヌーの講習の後は、ライフガードを脱ぎ、プールの中のボールを潜つて探す「宝さがし」です。カヌーの上の真剣な表情とはうつて変わって、水を楽しむ笑顔になっていました。

令和小学校プールで初めて開催されたカヌー教室、安全面はもちろん暑さやお天気も考慮しながらの講習会の1日。青空に流れる雲と光輝く水面の中、それに負けない子どもたちのキラキラとした眼差しが印象的でした。

今年は25名の子どもたちが、最大でも7名で、これまでよりゆつたりと漕ぐことができます。前日に中野区カヌー協会の倉庫から借りてきたカヌーを、当日朝、育成者が外階段を使つて1艇ずつ屋上に運び上げました。幸い今年はお父さん世代の育成者が多く、難なく7艇を運び上げることができました。心強い限りです。

カヌーに乗つて、最初はおつかなびつくりの子どもたちも、少し経つと慣れてきて、水の上をスイスイ漕げるよう



飲み込みが早く、早々に組み立てが終わつた上級生は、苦戦する下級生を育成者と一緒にサポートしてくれました。万華鏡は紙管のキャップに入れるビーズやアクリル板等

の種類や量で覗いた時の表情が変幻自在に変わり、一つと組みます。思い思いに折り紙、紙管のキャップを閉めたら、外側のデコレーションに取りました。どれも大人顔負けの出来栄えで、子どもたちに言わせると「シンプルがカッコいい」「シールべたべたはカッコ悪い」らしいです。回転させると模様が次々と変わることを知らない子もいて、つくづく時代を感じます。

完成した万華鏡を交互に覗められると、子どもらしさを知らぬ子もいて、嬉しい嬉しそうな笑顔が見られました。どれも大人顔負けの出来栄えで、子どもたちに言わせると「シンプルがカッコいい」「シールべたべたはカッコ悪い」らしいです。回転させると模様が次々と変わることを知らない子もいて、つくづく時代を感じます。

マスキングテープ、シールで装飾を施し、世界に一つだけのオリジナル万華鏡が完成しました。どれも大人顔負けの出来栄えで、子どもたちに言わせると「シンプルがカッコいい」「シールべたべたはカッコ悪い」らしいです。回転させると模様が次々と変わることを知らない子もいて、つくづく時代を感じます。